

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-42	小学校	道徳科	道徳	2
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
208 光文	道徳 208	小学 どうとく ゆたかな ころろ 2年		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条の教育の目標を達成するために以下の項目を以って基本方針としました。

◎「深く考え心が動く授業でゆたかな心を育てること」を目指し編修しました。

1

見通しをもった自主的・主体的な学習のために

【第1号】「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う」ため、冒頭にオリエンテーションを配置し、1年間の見通しをもった学習過程を示しています。

● 1年間の学習の見通しをもつ

冒頭にオリエンテーション「さあ、どうとくのがくしゅうがはじまります」(p.2~9)を配置。道徳科で学ぶ内容を明らかにし、道徳性を養う意義を児童自らが考え理解し、自らの目的意識をもち、主体的に学習へ取り組めるよう配慮しています。

2

学習効果を高めるための工夫

【第1号】「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う」ため、掲載の教材では以下のような授業の流れを提案しています。

● 導入の工夫

各教材の冒頭に導入を設置し、主題に関わる問題意識をもたせ、教材の内容に興味・関心を抱かせます。それによって学習意欲を高め、目的意識をより明確にした上で、学習に取り組めるようにしました。

● 展開の工夫

児童に寄り添うキャラクターを設定し、共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広めるための見方など、様々な「投げかけ」を行うことで、多様な感じ方や考え方を実感できるようにしました。多面的・多角的に考える発問など、児童の思考を促すよう考慮しました。

■児童の思考をサポートするキャラクター



● 終末の工夫

「まとめる」として、その時間に学習した内容を振り返るポイントを提示。

「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」を確認します。同時に今後の課題についても考えることができます。

導入でもった問題を意識して学習に臨み、終末で学習内容を振り返ることによって、授業開始時と終了時における考え・心の変容が実感できるようにしました。

● 発展の工夫

「ひろげる」として、「道徳の時間」で学んだことを他教科等や学校での活動、家庭生活、地域社会へとつながりをもたせ広げていくためのポイントを提示しています。

● 学習の振り返りの工夫

児童が自らの学習状況を確認する手立てとして、巻末に自己評価シート「まなびのあしあと」を用意しました。

3

多様な教材の開発

● 多様な教材の開発【第1・3・4・5号】

幅広い知識と教養を身につけるため、学級や学校生活など、児童が自分のこととして考えやすく、読み継がれてき

た名作、人間としての生き方に迫ることができる題材を用意しています。

「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」といった題材は、発達段階を考慮しながら全学年に設置しました。特に「スポーツ」に関連して、オリンピックやパラリンピックを題材として、自国の選手の活躍や国際的な大会としての見地もふまえた国際理解・親善にもつながる教材を掲載しました。

また、偉人など様々な人々の教材からは、その考えや生き方から学び、「勤労を重んずる態度」「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度」を養えるよう配慮しています。

● 地域教材の開発【第5号】

「伝統と文化を尊重」する態度を養うため、地域の伝統や文化、行事、先人など、児童に身近なことがらを題材としました。各地域の事例にあわせた学習へつなげられるよう、モデル教材として内容の汎用性を高めました。

4 指導内容の重点化

● 生命の尊さを軸に「生きる力」を育む【第4号】

「生命を尊ぶ」ため、生命の尊さについて、人間尊重の精神を重んじ、生命に対する畏敬の念をもち、人間としてよりよく生きる喜びへとつながるよう、小学校6年間の見通しをもって取り組めるよう配置しました。

5 体験的な学習についての配慮

【第3号】「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度」を養うため、以下のような体験的な活動への広がりを考慮しました。

● 「まとめる」「ひろげる」の活用

「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ため、学習のまとめとして、挨拶や言葉遣いなど具体的な道徳的行為を行い、そのよさや難しさなどを体験する活動を提示し、他教科の学習や家庭・地域での活動で実際に行うことを提示しています。

● 人間関係づくり

「男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる」ために、コラム「みんなでやってみよう！」で、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築を図り、様々なグループワークを提示しています。主体的・対話的で深い学びの実践としても活用できるようにしました。

● 勤労と社会奉仕への対応

様々な人物に焦点を当て題材を吟味し、キャリア教育にもつながる、生き方を学ぶ教材を用意しました。

また、多様な社会奉仕活動や学校内での奉仕活動なども取り上げ、「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことに配慮しました。

6 問題解決的な学習の工夫

● 「問い」をもつ【第1号】

「真理を求める態度」を養うため、オリエンテーションでは、「なぜだろう」「どうしてだろう」と、児童が常に「問い」をもって授業に臨むことの重要性を示しました。各教材においても、児童の経験や生活の中から「問い」がもてるように、様々な設問（導入）の工夫をしています。

7 家庭や地域との連携

● 「ひろげる」の活用【第3号】

「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ため、家庭や地域の人たちとの関わりのある活動を示し、学習したことが児童の日常生活へつながるように配慮しました。

8 自己評価の活用

● 「まなびのあしあと」の設置【第1・2号】

「真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心」を培い、「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばす」ために、学習後の振り返りを行い、巻末自己評価シート「まなびのあしあと」を記入します。授業後の心の動きや学びを継続し道徳性をより深め育み、書き溜めることにより児童自らが成長を実感し、新たな課題や目標を見つけていく学習に取り組めます。

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について、主な教材を取り上げ、該当ページを示しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
教科書全般		○イラストや写真などにおいては、男女の平等などに留意しました。(第3号)	すべてのイラスト・写真
オリエンテーション さあ、どうとくのがくしゅうがはじまります		○道徳の授業でどのような学習をしていくかを説明し、児童が自らの生活を振り返ることで、課題をもって学習に取り組み、学んだことを生活に生かせるようにしました。(第1号)	p.2~9
A 主として自分自身に関すること	❁ まい日をきもちよく (3・4)	○うそやごまかしをしないことで、明るく楽しく生活することができることを実感できるようにしました。(第1号)	22 p.88~89
	3 できるよポンタくん		36 p.144~147
	4 そこだよポンタくん	○日常のさまざまな場面を題材に、児童自らがどうしたらよいかを考えることから基本的な生活習慣を身につけ、人としてよりよく生きようとする心と態度を培っていけるようにしました。(第1号)	❁ 3・4 p.17~25
	13 三べんかんがえて		13 p.56~57
	14 ピーマンマンとよふかし大まおう	○じぶんのよさを発見し、よさを伸ばすことでよりよく生きる喜びにつながることを実感できるようにしました。(第2号)	14 p.60~63
	❁ よいこと、わるいこと (18・19)		30 p.116~119
18 くつつかくし	31 p.120~123		
19 レッドカード	○身近な事例をもとに、積極的に行うべきよいことと、人としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を養えるようにしました。(第3号)	❁ 18・19 p.75~79	
22 お月さまがみている		26 p.102~105	
26 おかあさんとのやくそく			
30 おりがみ名人			
31 ミーボーしんぶん			
36 ねこがわらった			
B 主として人との関わりに関すること	2 学校たんけん	○相手の立場を考えたり相手の気持ちを思いやりたりする教材を通して親切や思いやりのあり方を学ぶことで、よりよい人間関係を築く上での基礎となる豊かな心を養えるようにしました。(第1号)	2 p.14~16
	5 およげないりすさん		16 p.66~69
	8 あいさつがきらいな王さま		32 p.124~128
	16 ぐみの木と小鳥		37 p.148~149
	20 モムンとヘーテ	○お年寄りのもっている知恵や技術を教わる教材を通して、尊敬や感謝の気持ちが育めるようにしました。また、勤労に対する意識づけや、食物を育て収穫するといった自然の営みについても感じられるように配慮しました。(第2号・第3号・第4号)	24 p.94~97
	24 はたけの先生		
	28 小さなできごと	○日常生活を送るために欠かせない挨拶や作法を題材にした教材を通して、相手に対する敬愛の気持ちや社会に参画するときの態度を養えるようにしました。(第3号)	8 p.34~37
	32 とくべつなたからもの		28 p.108~111
	37 小さなゆきうさぎ		
	38 なかよしでいたい		5 p.26~29
	○友達関係のすれ違いを描いた教材をもとに、相手を理解し支え合い、助け合うことのよさが自覚できるようにしました。(第3号)	20 p.80~83	
		38 p.150~153	

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
C 主として集団や社会との関わりに関すること	1 学校大すき	○将来の社会的自立や職業観の第一歩として、「はたらくことのよさを感じてみんなのためにはたらく」ことがしっかりと自覚できるような教材を用意しました。(第2号)	11 p. 46～51
	6 げんかんそうじ		29 p. 112～115
	7 くろぶたのしっばい		
	9 やさい村の子どもたち		
	11 わたしたちもしごとをしたい ／みんなのためにはたらく	○差別や偏見をなくし、誰に対しても公正、公平な態度で接することのよさが実感できるよう、児童にとって身近な題材を提示し、自分ごととして考えられるようにしました。(第3号)	9 p. 38～41
	12 オリンピックとパラリンピックのはた		21 p. 84～87
	15 わたしのおじいさん、おばあさん	○祭りを題材に、自分の住む町のよさを知ったり、受け継がれている文化に触れたりすることで国や郷土の伝統と文化の大切さを知り、継承していこうという自覚を育むことができるようにしました。(第5号)	17 p. 70～74
	17 ぼくのまちも、ひかっている！ ／わたしのまちのよいところ		27 p. 106～107
	21 のこぎり山の大ぶつ		
	23 ジョゼクんとおりがみ		
27 かいらんぼん	○「折り紙」という日本の伝統文化を通じた国際理解や、オリンピックという児童が興味をもてる題材をもとに、他国の人々や国に親しもうという気持ちが高まるようにしました。(第5号)	12 p. 52～55	
29 きれいになったずこうしつ		23 p. 90～93	
39 おとす人、ひろう人			
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	10 おとうとのたんじょう	○よりよく生きようとする人間のよさへの第一歩となるよう、美しいものや崇高なものに触れて素直に感動する心を大切にし、それらを求める心が児童自身の心の中にあることを自覚できるような教材を用意しました。(第1号)	25 p. 98～101
	25 うつくしいもの、うつくしいところ ❁ かがやくいのち (33・34)		40 p. 156～159
	33 一まいのしゃしん	○家族との関わりを描いた教材から、命についての大切さ、尊さを実感できるようにしました。(第4号)	10 p. 44～45
	34 わたしのものがたり		❁ 33・34 p. 129～137
	35 さくらの木といっしょに		35 p. 138～141
40 しあわせの王子	○学校のさくらの木という題材をもとに、日常生活の中での自然との触れ合いを通して、自然と共に生きていることに気付き、自然環境を大事に守り育てようとする態度を育むことができるようにしました。(第4号)		
コラム	みんなでやってみよう！ 「きらきら」みつけた	○友達のよさを探して伝え合う活動を行うことで、友達のよさを認め合う心を育てられるようにしました。(第2号・第3号)	p. 42～43
	じょうほうモラル ネットマナーをみにつけよう	○児童に知っておいてほしいマナーを学ぶだけでなく、そのマナーが必要な理由も考えることができるように配慮しています。(第1号)	p. 58～59
	みんななかよしのしい学校 どんなクラスにしたいかな？	○学校生活で起こり得る場面を描き、よりよい人間関係やいじめのない学級を実現するためにはどうすればよいのかを児童自身が身をもって考えられるようにしました。(第2号・第3号)	p. 142
	ことばのたからもの	○児童の学びの支えとして、言葉のもつ力を知り、それが今後生きるものであることを実感できるようにしました。(第1号)	p. 143
まなびのあしあと		○授業の記録をつけることで、学習内容の定着を図り、自己の成長を振り返ることができるように配慮しました。(第1号)	巻末折り込み ①～④

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条及び学校教育法第21条に示された義務教育の目標を達成するために、以下のような編集方針を以って臨みました。

● 授業の見直しをもつ 【教育基本法第5条／学校教育法第21条1・2号】

「自立的に生きる基礎を培う」ため、各教材の冒頭に「導入」、最後に「まとめる（終末）」「ひろげる（発展）」を設置し、1時間の授業の目的や流れを明確にし、児童一人一人が意識を高めた中で「道徳の時間」の学習に取り組めます。

「導入」では、教材に対する興味・関心を引き出したり、問題意識をもたせたりするなど、「自主自立の精神」のもと、学習に対する意欲と動機づけが高まるように配慮しました。

「まとめる」「ひろげる」では、「学校内外における社会的活動」の促進を期待し、その時間の授業を振り返り、その後の「道徳の時間」以外への活動へつなぎ、さらに上げられるよう考慮しました。



● 体験活動から実生活での行動化へ 【学校教育法第21条1・2号】

オリエンテーション内の、「どうとくのじかんはこんなじかんです」の中で、体験することの重要性に児童が着目できるよう、授業で学習したことが生活の場での体験につながる意識づけを促す構成としています。

明るく楽しい学級づくりを目指す「みんなでやってみよう！」で「人間関係づくり」のコラムを全学年に取り入れています。

● 連携しやすい教材 【学校教育法第21条1・2号】

学校内外における社会体験活動を促進し、家庭や地域との交流を描く教材を生かし、家庭や地域との連携がとりやすい教材を作成しました。また、自然体験活動の促進も同様に実際の自然と触れ合う行動や行事などを絡めた教材づくりを行いました。他教科とも適宜関連連携が図れるよう構成の配慮をしています。

● 社会の形成者として 【教育基本法第5条2号】

「国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う」ため、実生活での道徳的実践にも生かせるよう配慮しています。冒頭のオリエンテーションでは「いろいろなばめんで……」(p.6)として、学校・家庭・地域での道徳体験と行動を示唆し、各教材の終末・発展では生活の中で道徳性を発揮するための提案も行っています。また、社会に参画する構成員の一員としての自覚を育む配慮もしています。

併せて「主権者教育」の視点から「社会参画に関する教育」なども教材の題材として扱っています。

● 言葉のもつ力を生かす 【学校教育法第21条第5号】

本編教材では言語活動との関連もふまえ、教材を読むことで読書活動を行い、また学習内容を広げるために、題材と関連する本を読むよう促す終末・発展の工夫もあります。また、コラム「ことばのたからもの」では、語彙の獲得にもつながるよう、名言や格言を紹介し、教材とも関連させ、言葉のもつ力を実感できるようにし道徳的にも意味あるものとして掲載しました。

● よりよく生きるために 【学校教育法第21条10号】

勤労を重んずる態度として「勤労、公共の精神」の内容を基に配慮しています。「個性の伸長」によって個性を生かすことを学び、偉人や活躍する著名人の生き方からキャリア教育的な見地からも、人間として生きる喜びを感じるため、特性を育み学べる教材を重視しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-42	小学校	道徳科	道徳	2
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
208 光文	道徳 208	小学 どうとく ゆたかな ころろ 2年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

◎「深く考え心が動く授業で子どもたちのゆたかな心を育てる」ことを目指して編修しました。

1 見通しをもった自主的・主体的な学習のために

● 1年間の学習の見通しをもつ

教科書の冒頭にオリエンテーションとして「さあ、どうとくのがくしゅうがはじまります」(p.2~9)を配置することで、道徳の学習で「どういったことを、どのように学ぶのか」を明らかにし、道徳性を養う意義を児童自らが考え理解し、目的意識をもって主体的に学習に取り組むことができるように配慮しました。

道徳で学習したことが、他教科・領域の学習や学校行事、日常生活などへとつながり、また日常生活の中から問いを見つけ、道徳の学習へ返っていくというスパイラルでの学習を図としてあらわしました。児童自らが課題を見つけたり、学んだことを生活に生かしたりすることの大切さをわかりやすく説明し、児童自身の将来像を描けるように構成しています。

また、命・いじめ・情報についてはもくじにて新たにマークで明示しました。

● 毎時間の授業の見通しをもつ

各教材には、冒頭に「導入」、最後に「まとめる(終末)」「ひろげる(発展)」を設置し、1時間の授業の目的や流れを明確にしました。「導入」では、教材に対する興味・関心を引き出したり、問題意識をもたせたりするなど、学習に対する意欲をもたせ、動機づけができるようにしました。「まとめる」「ひろげる」では、その時間の授業を振り返り、授業後の活動へとつながるようにしています。

■まとめる
マーク



■ひろげる
マーク



2 学習効果を高めるための工夫

● 導入の工夫

各教材には、冒頭に導入を設置し、主題に関わる問題意識をもたせたり、教材の内容に興味・関心をもたせたりすることで、学習への意欲を高め、目的意識をもって学習に取り組めるようにしました。

● 展開の工夫

児童に寄り添うキャラクターを設定し、共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広げるための見方など、キャラクターを通して様々な「考える」投げかけを提示しています。投げかけをもとに、多様な感じ方や考え方を実感できるようにし、児童自身の考えを深めたり広げたりできるように配慮しました。

考える必然性や切実感のある発問、自由な思考を促す発問、物事を多面的・多角的に考える発問など、児童の思考を促す投げかけになるよう考慮しています。

■児童の思考をサポートするキャラクター



● 終末の工夫

「まとめる」として、その時間に学習した内容を振り返るポイントを提示し、「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」や今後の課題について考えられるようにしました。導入で問題意識をもって学習に臨み、「まとめる」で学習内容を振り返ることによって、授業開始時と終了時における考えの変容が実感できるようにしています。

● 発展の工夫

「ひろげる」として、道徳の学習で学んだことが、他教科・領域や家庭生活、地域社会へとつながるような課題やポイントを提示しました。他教科等との関連をもたせた指導を有効に行うことができるよう、学習時期も配慮した配列としています。

● 学習の振り返りの工夫

児童一人一人が自らの学習状況を確認する手立ての一つとして、巻末に自己評価シート「まなびのあしあと」を用意しました。

3

多様な教材の開発

● 選択できる教材の掲載

学校や地域の実態などに即して弾力的に取り扱えるように、第1学年は6本、第2～第6学年は5本の選択教材を用意しました。

● 多様な教材の開発

学級や学校生活など、児童が自分のこととして考えやすい題材や、長く読み継がれてきた名作など人間としての生き方に迫ることができる題材を選定しました。特に「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」等の題材については、児童の発達段階を考慮し全学年に設置しています。また、オリンピックやパラリンピックを題材とした教材も設定しました。

● 現代的な課題への対応

情報化への対応に関しては、「規則の尊重」「善悪の判断、自律、自由と責任」「相互理解、寛容」「節度、節制」といった各内容項目の教材において『情報モラル』に関わる内容を題材として扱い、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度について考えられるようにしました。また、『情報モラル』は特に配慮が必要な項目と捉え、全学年とも本編の教材のほかにコラムとしても取り上げています。また、『主権者教育』の視点から「社会参画に関する教育」など、『人との共生』の視点から「国際理解教育」「障害の有無などに関わらず、互いのよさを認め合って協同していく態度」など、併せて「防災教育」等の諸課題についても、教材の題材として取り入れ、その学習を行うことで児童が自分との関係で捉え考えられるよう配慮しました。

● いじめの防止

いじめの防止や安全の確保といった課題については、児童にとって喫緊の問題であると捉え、各内容項目の教材において、直接的・間接的にいじめについて児童自身の問題として捉えられるような教材を選定しました。

また、本編教材のほかに、全学年にコラム「みんななかよし たのしい学校」を発達段階に合わせて設置し、特に学校生活において、児童自らがいじめの防止等に主体的に関わる態度を育めるように配慮しました。

● 地域教材の開発

地域に根づく伝統や文化、行事、先人など、児童にとって身近なものを題材とした教材を取り入れ、伝統と文化を尊重し、国や郷土を愛する態度を養うことにもつながるように配慮しました。題材は各地域のものであっても、どの地域においても活用できるよう、汎用性をもたせたつくりとなっています。

4

指導内容の重点化

● 重点主題の設定

特に「重点的な指導を必要とすることがら」(『小学校学習指導要領』第1章総則 第1の2)について、長期的な見通しのもとにしっかりと育むという趣旨のもと、連続的に扱うことでより効果が得られる教材を児童の発達段階に考慮して設定しています。

- 1・2学年「善悪の判断、自律、自由と責任」「節度、節制」「生命の尊さ」
- 3学年「規則の尊重」「友情、信頼」「よりよい学校生活、集団生活の充実」「生命の尊さ」
- 4学年「規則の尊重」「友情、信頼」「生命の尊さ」
- 5学年「相互理解、寛容」「勤労、公共の精神」「生命の尊さ」
- 6学年「規則の尊重」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「生命の尊さ」

● 「生命の尊さ」を軸に「生きる力」を育む

重点主題のなかでも、特に「生命の尊さ」については、人間尊重の精神を重んじ、生命に対する畏敬の念をもち、人間としてよりよく生きる喜びにつながるよう、6年間の見通しをもって取り組めるようにしました。

5

言語活動の充実

● オリエンテーションの活用

オリエンテーション(p.2～9)において、考える活動についての方法を掲載し、中でも話し合いの重要性や目的がわかるようにしました。また、「どうとくのノート」の例を提示し、書いてまとめることによって理解を深めたり整理したりできることを示しました。

● 「まとめる」「ひろげる」の活用

「まとめる」「ひろげる」では、話し合ったり書いたりする活動を示唆し、学習の理解を深められるようにしました。

● 言葉のもつ力

コラム「ことばのたからもの」では、人生の道標や支えとなるような名言を紹介し、教材と関連させることで言葉の意味を深く理解し、言葉のもつ力を実感できるようにしました。

● 自己評価シートの活用

「まなびのあしあと」に授業後の記録をつけることで、自分の考えを表現する力を育み学習を継続的に深められるようにしました。

6

体験的な学習についての配慮

● オリエンテーションの活用

オリエンテーションにおいて、体験することの重要性に児童が気づき授業で学習したことが生活の場での体験につながる意識づけができるような構成としています。

● 「まとめる」「ひろげる」の活用

学習のまとめとして、挨拶や言葉遣いなど具体的な道徳的行為を行い、そのよさや難しさなどを体験する活動を示唆したり、他教科の学習や家庭・地域での活動で実際にやってみることを提示したりしています。

● 人間関係づくり

コラム「みんなでやってみよう！」を全学年に設置し、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築にむけて、発達段階に応じた様々なグループワークを提示しています。主体的・対話的で深い学びの実践としての活用にもつなげられます。

7

問題解決的な学習の工夫

● 「問い」をもつ

オリエンテーションにおいて、「なぜだろう」「どうしてだろう」と、児童が常に「問い」をもって授業に臨むことの重要性を示しました。各教材においても、児童の経験や生活の中から「問い」がもてるように、様々な設問（導入）の工夫をしています。

● 多面的・多角的に考える

教材の下段には、「考える」投げかけを配置し、様々な視点から投げかけを行い、児童が多面的・多角的に考えられるようにサポートし、様々な考えや意見をもとに、問題の解決にむけて取り組むことができるように配慮しています。

8

家庭や地域との連携

● 「ひろげる」の活用

家庭や地域の人たちとの関わりをもたせた活動を提示し、学習したことが児童の日常へつながるように配慮しました。

● 連携がしやすい題材

教材には、家庭での出来事や地域との交流を描いたものなど、家庭や地域との連携がとりやすい題材を多種取り入れています。

9

評価について

● 「まなびのあしあと」の設置

児童が学習後の振り返りができるように、巻末に自己評価シート「まなびのあしあと」を用意しました。授業後の心の動きや学びを継続して記しておくことで、自ら成長を実感し、新たな課題や目標を見つけて学習に取り組めるように配慮しています。また、学期末や年度末といった長いスパンでの振り返りもできるように、「まとめ」欄も設けています。

10

誰にでも使いやすい教科書

● 読みやすい文章

漢字は一学年前の漢字のみの使用を基本とし、すべての漢字に読みがなをふり、文節で改行を行うなど、読みやすさを配慮しました。わかりにくい文言には、適宜脚注で説明を設けています。

● 大きな写真やイラスト

写真やイラストが引き立つようレイアウトし、児童の興味・関心や思考が深まるようにしました。

● ユニバーサルデザイン

図版やグラフ等の配色は、だれでも見やすいよう専門家の目を通し、カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。また、児童の負担感の軽減のために、紙の厚みを抑えて軽量化を図っています。

教材には、登場人物の紹介を冒頭に入れ、より読みやすい教材づくりを図りました。

11

造本上の工夫

● 環境への配慮

表紙・本文には再生紙を使用しています。また、印刷には植物油インキを使用しています。

製本には針金を使用せず、堅牢性を保ちながら環境にも配慮しています。

● 堅牢性

はがれにくい糊を使用するとともに、表紙に筋を入れることで、頻繁に開閉しても壊れないよう工夫しました。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	備考	配当時数
	主たる内容項目	関連性のある内容項目			
オリエンテーション さあ、どうとくのがくしゅうがはじまります	すべて		p. 2～9		*
1 学校大すき	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	B 感謝	p. 10～13		1
2 学校たんけん	B 親切, 思いやり	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 14～16		1
重点主題					
扉 まい日をきもちよく	A 節度, 節制		p. 17		
3 できるよポンタくん	A 節度, 節制	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 18～21		1
4 そこだよポンタくん	A 節度, 節制	A 希望と勇気, 努力と強い意志	p. 22～25		1
5 およげないりすさん	B 友情, 信頼	C 公正, 公平, 社会正義	p. 26～29	いじめ共生	1
6 げんかんそうじ	C 家族愛, 家庭生活の充実	C 勤労, 公共の精神	p. 30～31		1
7 くろぶたのしっばい	C 規則の尊重	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	p. 32～33		1
8 あいさつがきらいな王さま	B 礼儀	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 34～37		1
9 やさい村の子どもたち	C 公正, 公平, 社会正義	B 友情, 信頼	p. 38～41	いじめ共生	1
みんなでやってみよう! 「きらきら」みつけた	A 個性の伸長		p. 42～43		*
10 おとうとのたんじょう	D 生命の尊さ	C 家族愛, 家庭生活の充実	p. 44～45		1
11 わたしたちもしごとをしたい	C 勤労, 公共の精神	B 親切, 思いやり	p. 46～49	主権者防災	1
コラム みんなのためにはたらく	C 勤労, 公共の精神		p. 50～51	主権者防災	*
12 オリンピックとパラリンピックのはた	C 国際理解, 国際親善	D 生命の尊さ	p. 52～55	共生	1
13 三べんかんがえて	A 節度, 節制	C 家族愛, 家庭生活の充実	p. 56～57		1
じょうほうモラル ネットマナーをみにつけよう	C 規則の尊重		p. 58～59	情報	*
14 ビーマンマンとよふかし大まおう	A 節度, 節制	A 希望と勇気, 努力と強い意志	p. 60～63		1
15 わたしのおじいさん, おばあさん	C 家族愛, 家庭生活の充実	B 感謝	p. 64～65	共生	1
16 ぐみの木と小鳥	B 親切, 思いやり	B 友情, 信頼	p. 66～69		1
17 ぼくのまちも, ひかっている!	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	B 友情, 信頼	p. 70～73	主権者	1
コラム わたしのまちのよいところ	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		p. 74	主権者	*
重点主題					
扉 よいこと, わるいこと	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任		p. 75	いじめ	
18 くつかくし	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	A 正直, 誠実	p. 76～77	いじめ	1
19 レッドカード	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	A 節度, 節制	p. 78～79	いじめ	1

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	備考	配当 時数
	主たる内容項目	関連性のある内容項目			
20 モムンとヘーテ	B 友情, 信頼	B 親切, 思いやり	p. 80~83	いじめ	1
21 のこぎり山の大ぶつ	C 公正, 公平, 社会正義	B 友情, 信頼	p. 84~87	いじめ 共生	1
22 お月さまがみている	A 正直, 誠実	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	p. 88~89		1
23 ジョゼクんとおりがみ	C 国際理解, 国際親善	B 友情, 信頼	p. 90~93	共生	1
24 はたけの先生	B 感謝	B 礼儀	p. 94~97		1
25 うつくしいもの, うつくしいこころ	D 感動, 畏敬の念	A 個性の伸長	p. 98~101		1
26 おかあさんとのやくそく	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	B 友情, 信頼	p. 102~105	情報	1
27 かいらんぼん	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	B 親切, 思いやり	p. 106~107	主権者	1
28 小さなできごと	B 礼儀	A 正直, 誠実	p. 108~111		1
29 きれいになつたぞうしつ	C 勤労, 公共の精神	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 112~115		1
30 おりがみ名人	A 希望と勇気, 努力と強い意志	A 個性の伸長	p. 116~119		1
31 ミーボーしんぶん	A 個性の伸長	A 希望と勇気, 努力と強い意志	p. 120~123		1
32 とくべつなたからもの	B 親切, 思いやり	B 感謝	p. 124~128		1
重点主題					
扉 かがやくいのち	D 生命の尊さ		p. 129		
33 一まいのしゃしん	D 生命の尊さ	C 家族愛, 家庭生活の充実	p. 130~133		1
34 わたしのものがたり	D 生命の尊さ	C 家族愛, 家庭生活の充実	p. 134~137		1
35 さくらの木といっしょに	D 自然愛護	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 138~141		1
みんななかよしたのしい学校 どんなクラスにしたいかな?	C よりよい学校生活, 集団生活の充実		p. 142	いじめ	*
ことばのたからもの	A 節度, 節制 A 善悪の判断, 自律, 自由と責任		p. 143		*
36 ねこがわらった	A 正直, 誠実	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	p. 144~147		*
37 小さなゆきうさぎ	B 親切, 思いやり	B 友情, 信頼	p. 148~149		*
38 なかよしでいたい	B 友情, 信頼	A 正直, 誠実	p. 150~153	いじめ	*
39 おとす人, ひろう人	C 規則の尊重	A 節度, 節制	p. 154~155		*
40 しあわせの王子	D 感動, 畏敬の念	B 親切, 思いやり	p. 156~159		*
			合計		35

○重点主題は、特に重点的な指導を必要とすることがらについて、複数の教材を続けて学習することによって、道徳的価値の理解を深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるという趣旨のもと、設定している。

○備考欄には、『学習指導要領』第3章 特別の教科道徳 第3の2, 3(1)に記載されている題材を取り扱った主な教材を記した。

いじめ→いじめの防止/情報→情報モラル・情報社会/主権者→主権者教育/共生→人(他者)との共生/防災→防災教育

○配当時数が*印の教材は、適宜扱う。